

みんなでつくるばnどう未来ビジョン 坂東市の未来をつなぐ

各種政策に取り組んでいます こども政策

将来を担う子どもたちが、いきいきと楽しく学び、健やかに成長することを願い、ICT（情報通信技術）を効果的に活用した授業や快適に学校生活を送れる環境の整備に取り組んでいます。

●主な取り組み

1人1台タブレット端末を利用した授業

国が進める「GIGA（ギガ）スクール構想」の取り組みとして、今年度から児童生徒に1人1台のタブレット端末を配備し、新しい形式の授業を行っています。ICTを活用し、多様な方法で学んでいくことで、子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人ひとりの資質・能力の育成につなげていきます。

生子菅小学校6年生の図画工作科の授業では、5年生が描いた絵を鑑賞した6年生が、タブレットにコメントを入力しました。5年生は自分のタブレットに送られたコメントを確認することで、自己肯定感を味わえます。このように、互いに発言・発信し合うことで、学びの質が高まっています。

～タブレットを使った授業について、
6年生のみなさんに聞きました～



タブレットに入力したものを教室のテレビに映すこともできるので、すぐにみんなで意見を共有できます。

タブレットを使った授業は、もう慣れました。

辞書だと時間がかかってしまうけど、タブレットだと一瞬で調べることができて、学習の幅が広がった感じです。

昨年9月の国の緊急事態宣言時に行われた自宅と学校をつないで学習するリモート授業でも、タブレット端末が活用されました。

～リモート授業について、南中学校の生徒のみなさんと先生に聞きました～



生徒会のみなさん

自宅で集中してリモート授業ができるのか初めは心配でした。画面が止まったりしましたが、チャット*や授業後の質問タイムで、分からないところを先生に聞いたので良かったです。また、タブレットをさらに活用すればペーパーレスになり、SDGs（エス・ディー・ジーズ）にもつながるし、リモートの環境が整えば、普段の授業と同じようにいろいろな意見が言い合えるようになって感じました。

※チャット：複数の利用者が、互いに文字を入力し合うことによって会話を行う機能

画面を通してだと生徒たちの表情が捉えづらい面はありましたが、普段なかなか発言できない生徒がチャットでは発言するなど違った一面も見られました。慣れない自宅での授業や回線トラブルなどで生徒たちは苦労したと思いますが、音声途切れた時にはチャットで入力することを確認して進めました。また、外付けカメラを導入し、カメラを移動できるように改善しました。ICTの良さをこれからもどんどん生かしていきたいと思っています。



駒橋先生

教育環境の整備・充実

逆井山小学校ではトイレの悪臭改善のため、校舎すべてのトイレ改修工事を行いました。新たにバリアフリーに配慮した多目的トイレも増築し、昨年12月から利用しています。子どもたちの学習・生活面へ影響がある学校施設から優先的に改修を行い、安全安心な教育環境の整備に取り組んでいます。



～児童のみなさん（1～3年生）に聞きました～

- トイレのにおいもなく明るくきれいになってうれしいです。大事に使おうと思います。
- ショッピングセンターのトイレみたいです！
- 流す音がしずかになってよかったです。
- 手洗い場のじゃぐちが、おすタイプになってかんたんになりました。
- つくってくれた工事の人にありがとうございます。

